

# 第9回 西日本インカレ（合同研究会）専用企画シート

必ず「企画シート作成上の注意」をご確認いただき、ご記入をお願いいたします。

大学名（フリガナ）	学部名（フリガナ）	所属ゼミナール名（フリガナ）
フリガナ）リュウコクダイガク	フリガナ）ケイエイガクブ	フリガナ）ハヤシ ナオキ
龍谷大学	経営学部	林 尚毅

チーム名（フリガナ）	代表者名（フリガナ）	チーム人数（代表者含む）
フリガナ）ハヤシジャパン	フリガナ）ニジリマツ ツカサ	6
林 JAPAN	矮松 司	

## 研究テーマ（発表タイトル）

福寿園の挑戦 ～伝統と革新～

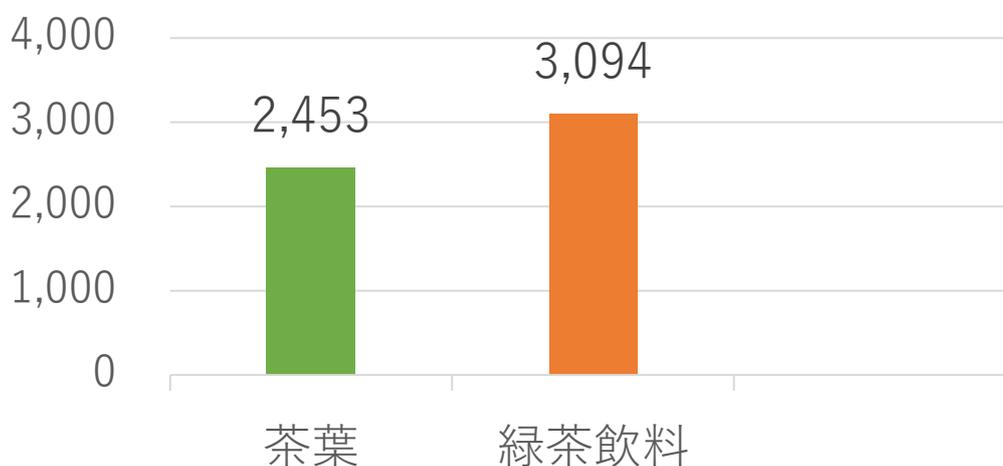
### 1. 研究概要（目的・狙いなど）

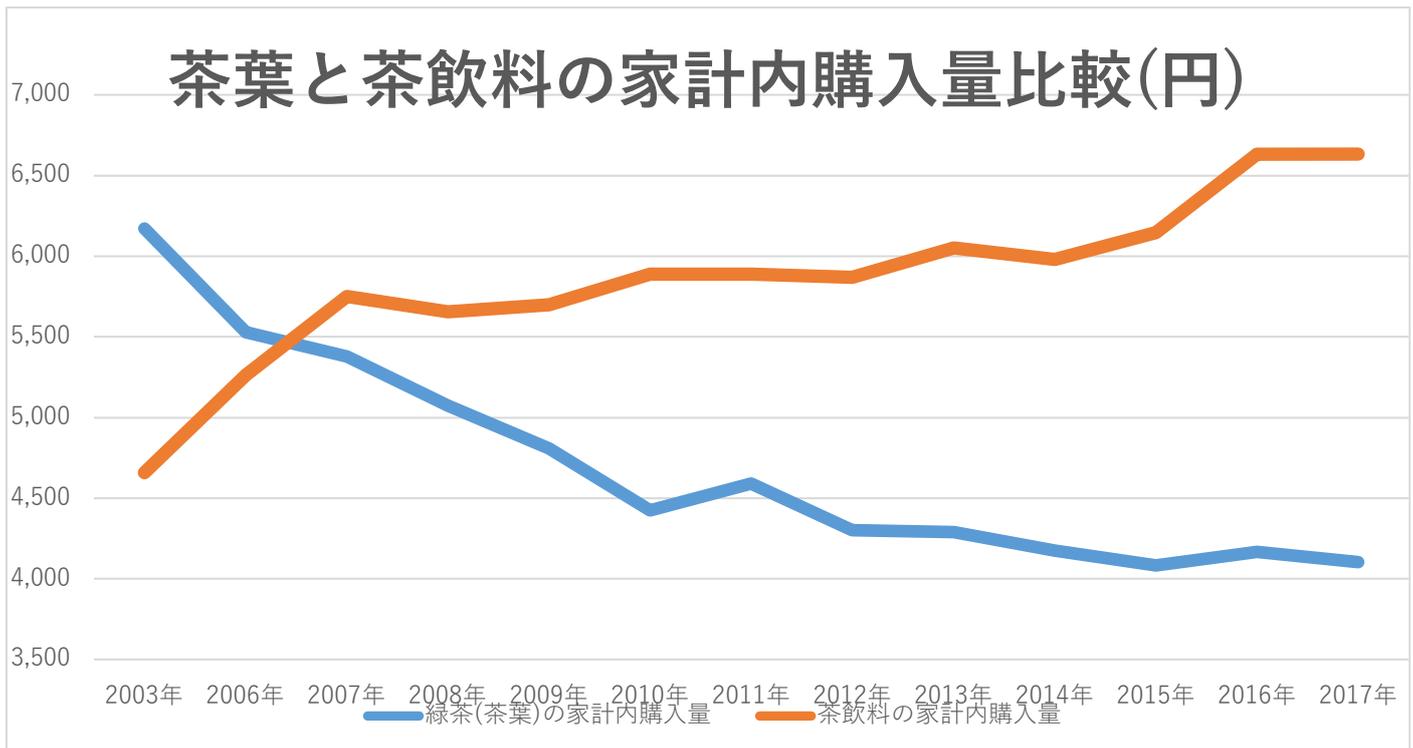
老舗製茶会社である福寿園がペットボトル飲料に参入した経緯と理由を突き止め、それを評価する。そのうえで、今後の進展として海外進出を狙う。福寿園の強みを生かした海外展開を構想する。

### 2. 研究テーマの現状分析（歴史的背景、マーケット環境など）

2000年代初頭以降のペットボトル系緑茶飲料の台頭により急須で淹れたお茶からペットボトルのお茶への転換が進んだ。これに対し、福寿園はサントリーと提携し伊右衛門を開発、その結果ペットボトル系茶飲料への参入と市場開拓に成功した。成功の理由には参入前からペットボトル系茶飲料市場が確立されていたことと福寿園が大量生産体制を早期から完備していたことがある。

（億円）2つの市場規模の比較（2003年）





総務省家計調査より [http://www.ocha.tv/history/japanese\\_tea\\_history/drink/](http://www.ocha.tv/history/japanese_tea_history/drink/)

## なぜ福寿園はペットボトル飲料に 参入したのか

ペットボトル系  
緑茶飲料を  
買う文化が  
でき始めていた

ペットボトル系  
緑茶飲料の  
大量生産に対応  
できるほどの  
設備があった

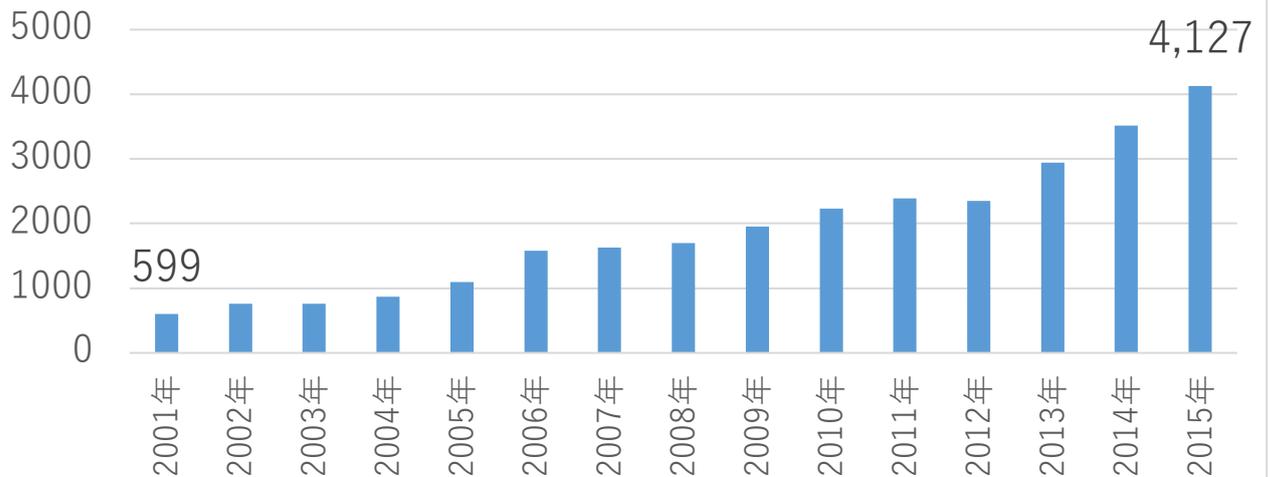
茶葉よりも  
緑茶飲料の  
市場規模が  
大きくなった

### 3. 研究テーマの課題

ペットボトル系茶葉飲料の伊右衛門は国内で成功を取めたが、EU 諸国やアメリカ各州ではペットボトルごみに対する規制が強まっており今後日本でも規制が強まるものと思われる。そこでペットボトル飲料と別に、増加している茶葉輸出に対応する進出を提案する。海外では現地での緑茶のイメージに沿った国内での茶葉の販売とは別のアプローチを行う必要があると考える。

(t)

## 茶葉輸出量



農林水産省財務省貿易統計より [http://www.maff.go.jp/j/tokei/kouhyou/kokusai/houkoku\\_yusyutu.html](http://www.maff.go.jp/j/tokei/kouhyou/kokusai/houkoku_yusyutu.html)

#### 4. 課題解決策（新たなビジネスモデル・理論など）

海外の緑茶イメージに沿って 3 つの点から海外展開を試みる必要があると考える。まず、1 点目に海外で健康飲料のイメージのある緑茶に対して特定保健用食品として認可された緑茶商品伊右衛門特茶などの販売。2 点目に日本茶のブランドとしての緑茶に対して福寿園が日本有数の老舗茶舗であるという事。つまり、茶文化の輸出。そして、3 点目に企業としての海外展開において既に 4 ヶ国で海外店舗を持っているという事。つまり、他の日本の老舗茶舗に先行していること。これら福寿園の持つ強みを生かした事業展開を行う事で他には真似できない福寿園ならではの海外展開が可能だと考える。



健康飲料としての緑茶

特保取得の緑茶商品

ブランドとしての緑茶

日本有数の老舗茶舗

企業としての海外展開

海外店舗

#### 5. 研究・活動内容（アンケート調査、商品開発など）

2018年10月3日に福寿園 CHA 遊学パークを訪問し、センター長の田村氏にインタビューを実施、ペットボトル飲料市場への参入の経緯、今後の課題などについてお話を伺った。

#### 6. 結果や今後の取り組み

福寿園がなぜペットボトル飲料に参入したのかを調べた結果、大量生産体制などの他にない強みが参入に繋がったと分かった。その上で、福寿園にとって金のなる木であるペットボトル系緑茶飲料市場から撤退するのではなく国内で販売を続けながらも、次の

展望として拡大する市場である海外への進出を考えた。海外においても強みを生かした事業展開を行い、ペットボトルに入ったお茶から急須で淹れたお茶への転換を図るとともにティーバックやカプセル抽出式のお茶など手軽に楽しめる緑茶の飲み方を展開する必要があると考える。今後は緑茶におけるスターバックスのような世界的なチェーン展開の可能性を調べてみたい。

## 7. 参考文献

峰如之介『なぜ、伊右衛門は売れたのか。』日本経済新聞出版社、2009、224p

- ・JETRO「欧州委、使い捨てプラスチック製品を規制する法案を提案」

<https://www.ietro.go.jp/biznews/2018/06/236a1949a1c9ccba.html> : 2018/11/9 閲覧

- ・JETRO「MH州、プラスチック製品の使用禁止を発表」<https://www.ietro.go.jp/biznews/2018/04/eff2ebd01c02ddcc.html> : 2018/11/9 閲覧

- ・農林水産省「財務省貿易統計」[http://www.maff.go.jp/j/tokei/kouhyou/kokusai/houkoku\\_yusyutu.html](http://www.maff.go.jp/j/tokei/kouhyou/kokusai/houkoku_yusyutu.html) : 2018/11/9 閲覧

- ・福寿園 HP<http://www.fukujuen.com/> : 2018/11/9 閲覧

- ・サントリー「伊右衛門ページ」[https://www.suntory.co.jp/softdrink/iyemon/green\\_tea/index.html](https://www.suntory.co.jp/softdrink/iyemon/green_tea/index.html) : 2018/11/9 閲覧

- ・伊藤園「決算説明会資料」[https://www.itoen.co.jp/finance\\_ir/material\\_backnumber/](https://www.itoen.co.jp/finance_ir/material_backnumber/) : 2018/11/9 閲覧

- ・日本茶業中央会「公開情報」<http://www.nihon-cha.or.jp/public.html> : 2018/11/9 閲覧

- ・お茶百貨「お茶の飲料化」[http://www.ocha.tv/history/japanese\\_tea\\_history/drink/](http://www.ocha.tv/history/japanese_tea_history/drink/) : 2018/11/9 閲覧

- ・環境省「プラスチック資源循環戦略小委員会」<https://www.env.go.jp/council/03recycle/yoshi03-12.html> : 2018/11/9 閲覧

●パワーポイント内に動画を使用されている場合、動画を使用しているスライドのページをご記入ください。

●発表時に使用する成果物（例. 商品化した●●、店舗で配布したパンフレット、調査に使用したアンケート）

**【企画シート作成上の注意】 ※「第9回 西日本インカレ（合同研究会）大会参加要項」も合わせてご確認のうえ、企画シートの作成を行ってください。**

- ・本企画シートは審査の対象となり、予選会・本選の前に、審査を行っていただく大学教員・企業の方々に事前にお渡しいたします。
- ・本企画シートは、「日本語」で書かれたものとし、1チーム・1点提出してください。また、翌年3月に公開予定の「大会結果 Web ページ」に掲載されます。
- ・本企画シートの項目に沿って、ご記入をお願いいたします。各項目に文字数制限はありませんが、1~7以外の項目を追加することは「不可」とさせていただきます。
- ・本企画シートは、作成上の注意を含め、4ページ以内に収めてください。事務局から審査員に渡す際は、A4サイズでプリントし、4ページ目までをお渡しします。
- ・大会参加申込み時点から、チーム編成の変更（チームの人数・交代など）は、「不可」とさせていただきます。ただし、チームメンバーの留学等やむを得ない事情でチーム編成に変更が生じる場合は、西日本インカレ事務局にご連絡ください。事務局より手続きについてご連絡をさせていただきます。なお、参加申込書提出時からのチーム名変更は「不可」とさせていただきます。
- ・企画内容は、未発表の（過去に他誌・HPなどに発表されていない）ものに限りです。ただし、学校内での発表作品は未発表扱いとなります。
- ・商品写真、人物写真、音楽などを掲載・利用する場合、必ず著作権、版權の使用許諾を得てください。日経BP社・日経BPマーケティング社は一切の責任を負いません。
- ・書籍や新聞等の文献から引用した場合は、出典先（使用した文献のタイトル・著者名・発行所名・発行年月など）を明記してください。統計・図表・文書等を引用した場合も同様に明記してください。また、Webサイト上の資料を利用した場合は、URLとアクセスした日付を明記してください。
- ・発表時に使用する成果物がありましたらご記入ください。記入がない成果物は大会当日使用することができません。また記入いただいた内容について、事務局から代表者の方に確認をさせていただきます。
- ・電話番号や住所などの個人情報は記載しないでください。